

配合飼料供給体制整備促進事業に関する事業評価表

配合飼料供給体制整備促進協議会名	事業実施地域（都道府県）	原料	成果目標	成果目標の達成状況					事業内容 （具体的な取組内容並びに導入施設の種類の、面積、台数、構造及び能力等）	地方農政局長等の意見 （総合所見）
				目標年 （計画）	計画策定時 （基準年） 平成26年度	事業 実施年 平成27年度	目標年 平成28年度	達成率 （%）		
アリーゲルグループ飼料米利活用推進協議会	岩手県	飼料用米	① 国産飼料原料の供給・利用量（t）	600 t	550 t	—	945 t	157.5%	【推進事業】 1 本事業の推進に関する取組 ①協議会の開催 2回（4月7日、2月2日） ②研修会の開催 1回（8月10・11日） ③研修会の開催 1回（7月21・22日） 2 国産飼料原料の供給・利用拡大に向けた取組 ①会議の開催 1回（6月30日） 3 国産飼料原料の流通コスト低減に向けた取組 ①会議の開催 1回（9月17日） 4 低コスト流通モデルの普及等に向けた取組 ①会議への出席 2回（12月17日、2月3日） ②印刷物の作成配布 1,000部 【整備事業】 ・乾燥調製施設（乾燥機能の追加） 建物、乾燥ビン、電気・機械設備、舗装、その他設備	推進事業において、国産飼料原料の「供給・利用拡大に向けた取組」や「流通コスト低減に向けた取組」のため会議を開催。また、「低コスト流通モデルの普及等に向けた取組」として、印刷物を作成し配布する等の活動を行った結果、成果目標を達成しており評価出来る。
			② 国産飼料原料の流通コスト（円/t）	9,133円/t	14,715円/t	—	9,133円/t	100.0%		
			③ 国産飼料原料を活用した配合飼料の製造コスト（ ）	/	/	/	/	/		
			（参考）導入施設の利用状況 [事業実施主体名：いわて平泉農業協同組合]							
			・乾燥貯蔵貯留ビン							
1 施設あたりの性能（処理量、容量等）（t/h）	20t/h	10t/h	—	20t/h	100.0%					
当該施設における年間国産飼料原料処理量等（t）	350t	256t	—	644t	184.0%					

※ 成果目標欄の（ ）には、事業実施主体が設定した単位（円/tなど）を記載すること。
 ※ 事業実施主体が選択していない成果目標の「成果目標の達成状況」欄には斜線を記入すること。
 ※ 評価対象である配合飼料供給体制整備促進協議会の構成員が整備事業を実施した場合には、「（参考）導入施設の利用状況」の「成果目標の達成状況」欄に施設ごとの年間国産飼料原料処理量等について記載すること。
 ※ 達成率欄には、「目標年度/目標」を記載すること。